

高等学校第1学年情報A学習指導案

日時 平成24年10月17日(水)

指導者 教諭 河津 辰巳

1 単元名 「17 新聞の企画・編集をしよう」(東京書籍)

2 単元について

(1) ねらいについて

通信手段の変化や通信機器の発達などにより、生徒を取り巻く環境には情報があふれるようになった。しかしながら、日頃、目にしている情報がどこから発信され、どのようにつくられているか考える機会はほとんどない。また、インターネットなど気軽に発信できる情報に比べ、新聞では確かな情報を発信することが求められる。

「17 新聞の企画・編集をしよう」では、新聞の企画や編集を通して情報をどのように集め、伝えるかを考えさせる。また、現代社会における「新しい人権」や、「小論文」との関連も考え、この時期に設定した。

(2) 生徒の実態について

※ 省略

(3) 指導にあたって

- グループでの活動を基本とし、新聞や書籍、伝聞などの情報を中心に調べさせる。特に、インターネットから集めた情報だけで記事を書かせないようにする。
- 信ぴょう性の低い情報や肖像権などに関してはクロスチェックを行わせ、確かな情報を書くことを意識させる。
- 時間を細かく区切って作業させ、無駄な話しや余計なインターネット閲覧などをさせないようにする。

ICT活用のポイント

①教師の活用

- ・導入で新聞記事の一部を隠して提示し、見出しや本文を考えさせる。
- ・展開時に、本時の作業内容を板書で確認させる。

②生徒の活用

- ・原稿を作成する際にコンピュータを利用し、編集を効率的に行う。

3 単元の目標

情報を発信するには、その情報に対して責任があり、安易に信ぴょう性が低いと考えられる情報を伝えない姿勢を持たせたい。また、マルチメディアのデータ統合を行い、効果的に情報を発信させたい。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
班での話し合いに意欲的に取り組み、記事になる情報を得ようとする。	取材の計画を立てたり、記事のチェックを行ったりすることができる。	集められた情報を読みやすい文章として原稿にまとめることができる。	情報の信ぴょう性やプライバシーの権利、肖像権について理解している。

5 指導計画及び評価基準（8時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	関	思	技	知	評価基準・評価方法
1 2	企画の説明 くじによる班決め 編集会議（記事の項目・役割分担）※記事の項目は各班で2～4つ自由に決める。	企画の趣旨を理解させ、班の中での役割を一人一人に与える。記事の項目は自分たちで決めさせ、1人1つの原稿を作成させる。	○			○	班での話し合いに意欲的に参加し、意見を述べることができる。 【関・意・態】
3 4 5 6	取材 記事原稿の作成（本時） メモ帳で各自作成 編集作業 各自作成した記事原稿を集めて編集	計画的に作業が進められるように、期限を細かく設け、進捗状況を随時確認する。		○	○		アンケートやインタビューなど、取材の計画を立てることができる。 【思・判】 5W1Hの情報を文章に取り入れ、原稿を作成できる。 【技・表】
7 8	新聞の完成 相互評価・自己評価	作成しただけで終わらせないように、学年で公開した後も一定期間修正できるようにする。		○		○	作成した記事をチェックし、著作権や肖像権などの侵害の有無を確認できる。 【知・理】

6 本時の展開

(1) 目標 取材で集めた情報をもとに原稿を作成する。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT 活用	
導入 10分	<p>1 本時の授業内容の確認</p> <p>(C) PCを立ち上げ、授業用HPを確認する。</p> <p>(T)情報の信ぴょう性や肖像権について確認する。</p> <p>(T)見出しを隠した新聞記事プリントを配布し、見出しを考えさせる。同じ文章をスクリーンにも表示する。</p> <p>(C)考えた見出しを、PCで入力し、データとして提出する。</p> <p>(T)提出されたデータを集約してスクリーンでいくつか紹介する。</p> <p>(T)スライドで、見出しから文を類推する例を示す。</p>	<p>○PCの立ち上がりには差があるので、生徒の動作を確認しながら進める。</p> <p>○調べたり、取材した内容に問題がある場合は記事にしないように伝える。</p> <p>○時間を決めて文章を読ませる。</p> <p>○机間指導で、操作がうまくいかない生徒を確認、支援する。</p> <p>○クラスの生徒の様々な意見に触れる。</p> <p>○効果的な見出しは、その一文を読んだだけで記事の内容をおおまかにつかむことができることを伝える。また、写真や図、グラフなどは視覚的にわかりやすく示すよう工夫し、補助的に使うよう指導する。</p>	<p>授業用HP</p> <p>スライド</p> <p>スライド</p>	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>課題 効果的な見出しを考え、原稿を作成する。</td> </tr> </table>			課題 効果的な見出しを考え、原稿を作成する。
課題 効果的な見出しを考え、原稿を作成する。				
展開 35分	<p>2 班ごとに分かれ記事の作成</p> <p>(T)班に分かれ、取材した内容を確認させる。</p> <p>(T)原稿を書くときの6つのポイント5W1Hを確認する。 ※教科書P.37</p> <p>(C)各々がメモ帳機能を利用して原稿を作成する。その際、規定の原稿形式を確認しながら進める。</p>	<p>能動型学習班長を中央に座らせ、生徒用PCはロックをかけ話す雰囲気をつくる。時間を決め、限られた時間で確認する。</p> <p>○本時の作業内容と5W1Hを板書しておく。</p> <p>5W1Hのメモプリントを配布し、記入例を紹介する。</p> <p>○各自担当する記事の内容を原稿にまとめていく。【規定の原稿形式】</p> <p>1：記事、2：日時、3：場所、4：氏名</p>	<p>板書</p> <p>メモ帳機能</p>	

	<p>(C)時間になったら、できたところまでで作業を中断し、クラスのフォルダへ保存しておく。</p>	<p>○個人フォルダのIDとパスワードを忘れていないか確認しながら、正しく保存できるよう机間指導を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・【思考・判断】班での話し合いに意欲的に参加し、工夫した見出しを考えているか。 ・【技能・表現】収集した情報を文章にまとめ、規定の形式に従ってデータ化できるか。 </div>	
<p>終末5分</p>	<p>3 まとめ (T)紙面のレイアウトについて教科書を使って確認する。※教科書P. 45</p>	<p>○生徒用PCはロックをかけ、説明を集中して聞けるようにする。</p>	